

Business Review

ユナイテッドアローズ事業

ビジネスユニット
売上高前期比

106.6%

小売+ネット通販既存店
売上高前期比

103.5%

UNITED ARROWS

ユナイテッドアローズ (UA)



2018年春夏シーズンビジュアルより引用

UAでは、オリジナル企画商品の社内内覧会を年4回開催し、商品部門と販売部門の意見交換を行っています。店舗の声をもとに品ぞろえのバランスや在庫の数量などに修正を加えることで、商品計画の精度を高めました。売上の核となる商品については魅力的なスタイリングを組んで雑誌広告、カタログ、ウェブサイトなどの販促メディアを使って訴求しています。その結果、特にウィメンズが好調に推移しており、アウター、ニット、スカート、パンツなど、多数のヒットを生み出しました。



UNITED ARROWS

BEAUTY&YOUTH UNITED ARROWS

ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ (BY)



「LOOKS 2018 SUMMER」より引用

BYでは、メンズ、ウィメンズともにダウンジャケットなど冬物アウターが顕著に動きました。2017年11月にオープンした「丸の内店」では、ハイエンドなカジュアルスタイルを提案する「エイチ ビューティ&ユース」の商品も展開して品ぞろえの感度を上げ、お客様層を広げています。小型事業の「モンキータイム」「ロク ビューティ&ユース」「スティーブン アラン」では、顧客の増加でそれぞれのターゲットが明確になりました。それに伴い商品力が向上し、実績伸長が続いています。



BEAUTY&YOUTH
UNITED ARROWS

ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング事業

ビジネスユニット 売上高前期比	106.4%	小売+ネット通販既存店 売上高前期比	104.7%
--------------------	--------	-----------------------	--------

UNITED ARROWS green label relaxing

ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング (GLR)



「THE GREENPAPER SPRING/SUMMER 2018」より引用

GLRでは、お客様の声を活かした主力商品を軸にスタイリングを組み、商品陳列や雑誌広告、カタログ、ウェブサイト、各種SNSを通じてご紹介しています。この取り組みがウィメンズのアウターや、それに合わせるインナー、ボトムス全般の売上につながりました。今後は改装による既存店の強化に加え、働く女性に向けた「ルロウ グリーンレーベル リラクシング」、ビジネス衣料に特化した「ワークトリップ アウトフィッツ グリーンレーベル リラクシング」の出店も行い、売上を拡大します。



UNITED ARROWS
green label relaxing

スモール ビジネス ユニット

ビジネスユニット 売上高前期比	100.5%	小売+ネット通販既存店 売上高前期比	105.7%
--------------------	--------	-----------------------	--------

Small Business Unit

スモール ビジネス ユニット (SBU)



「オデット エ オディール」2018年春夏シーズンビジュアルより引用

SBUでは、ウィメンズの靴とバッグの「オデット エ オディール」において、販売力を上げる取り組みを行っています。ロールプレイングを軸にした店内教育に加え、店舗間の交換研修を実施して販売員の経験値を高め、買上率を向上させました。駅ナカを中心に展開する「ザ ステーション ストア ユナイテッドアローズ」では、季節に応じたテーマの打ち出しや色、柄、素材を切り口にした商品紹介を店頭陳列やウェブサイト、各種SNSを使って行い、ワンピース、ブラウスなどの売上を伸ばしました。

スモール ビジネス ユニット：「アナザーエディション」「ジュエルチェンジズ」「オデット エ オディール」「ボワソソショコラ」「ドゥローワー」「アンルート」「ジ エアポート ストア ユナイテッドアローズ」「ザ ステーション ストア ユナイテッドアローズ」

*「アナザーエディション」「ボワソソショコラ」は2018年3月期で事業を終了、「アンルート」については2018年春夏シーズンより「ビューティ&ユース」内のメンズレーベルとして展開しています。

連結子会社の概況

CONSOLIDATED SUBSIDIARIES

連結子会社



2018年春夏「コーエン」テレビCM「いつもの私、いくつもの服。」より引用

連結子会社では、特に(株)コーエンが好調に推移しました。(株)コーエンは2016年1月期、2017年1月期の2期にわたり業績が低迷したことを受け、2017年1月期下期より収益構造改革に着手し、ポジショニングマップの整備やターゲットとなるお客様の再定義を行いました。商品企画に関わる業務についても、店舗への商品投入計画を月単位から週単位に細分化するなどの取り組みを行ったほか、ターゲットの明確化に伴う商品品番数の適正化を推進しました。以上の結果、売上の伸長、売上総利益率の改善、たな卸資産の効率化を同時に図ることができました。2018年3月からは、(株)コーエンとして初のテレビコマーシャルの放映を開始し、さらなる認知度の向上を目指しています。

連結子会社：(株)フィーゴ、(株)コーエン、台湾聯合艾諾股份有限公司 (UNITED ARROWS TAIWAN LTD.)、(株) Designs、CHROME HEARTS JP合同会社 (CH JP)

* (株)コーエン、台湾聯合艾諾股份有限公司、(株) Designsは1月期決算のため、当期の連結対象期間は2017年2月～2018年1月となります。CH JPは12月決算ですが、連結対象期間は2017年4月～2018年3月となります。